

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月26日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	しょうおう農泊推進協議会	代表者名	会長 土井 崇司
担当者部署	勝央町	連絡先電話番号	0868-38-3112
担当者役職		担当者氏名	
住所	709-4316 岡山県勝央町勝間田		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	しょうおう農泊推進協議会	連絡先部署	勝央町
担当者氏名		連絡先電話番号	0868-38-3112
		連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 登志男
評価	ふつう
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	過去2回の派遣での提案内容の効果検証のため来町、モニターツアーに同行いただいたが、実際にスケッチブックを描画する時間よりも前の退出となったため、現場には立ち会われなかった。
アドバイザーへの要望事項	滞在時間中に、外国人参加者のおもてなしを行う町内の方々と多く会話されていたので、そのフィードバックも併せて、今後ご提案いただきたい。参加者からはツアーで感じたことを表現した絵日記が多く得られたが、これらを今後どのように農泊の推進のために発信していくのかの検討にも参加いただきたい。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月14日	11時45分	15時50分		245
3-2. 派遣場所	会場名	農園・空		最寄駅	JR姫新線勝間田駅
	所在地	岡山県勝田郡勝央町石生289-1			
	最寄駅からの交通手段	車で約20分			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	しょうおう農泊推進協議会	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	○発信力のある人材をモニターとして招へいするものの、実際に本人が撮影した写真が把握できない。 OSNS等でつけてもらうハッシュタグが統一出来ていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	○個々の体験メニューからのツアー創生について、旅行会社とのうまい付き合い方をアドバイスいただく。 ○アドバイザーの知見を生かし、効果的な情報発信の方法を学ぶ。 ○勝央町ならではの取組を確立させる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	モニターツアーの参加者にスケッチブックとクレヨンを渡し、“絵日記(Traveler's Notebook)”を描いてもらう。これにより、参加者が印象深く感じた点を把握できるほか、協議会のHPなどに参加者の描いた絵を掲載することができ、目を引くことができる。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	参加者から得られた“絵日記”は、非常に独自性があると思われる。単に絵や心象風景の描画だけよりも、小さくてもコメント等を盛り込んでもらうことで、よりお客さんの心が動いた内容のフィードバックを得ることが出来るため、効果が増すようである。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	参加者による絵日記を収集できた。また、1泊2日のツアーの中でも、特に印象深かったシーンを把握することができた。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	参加者から得られた“絵日記”は、非常に独自性があると思われるが、これを公開するにあたっては、webやSNSで展開するためのシナリオ作りの必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 スケッチブックとクレヨンという共通のツールと共通のツアーを提供しても、国籍や性別によって表現の仕方にかなり差がある。関心を持ったポイントが明確に把握できて良い。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	取組主体自らが既存の広報媒体を利用して、今回アドバイスを得た内容を活用し、農村部の魅力向上につながる情報発信を行う。	

**6. 地域情報化アドバイザー支援の様子**  
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

